

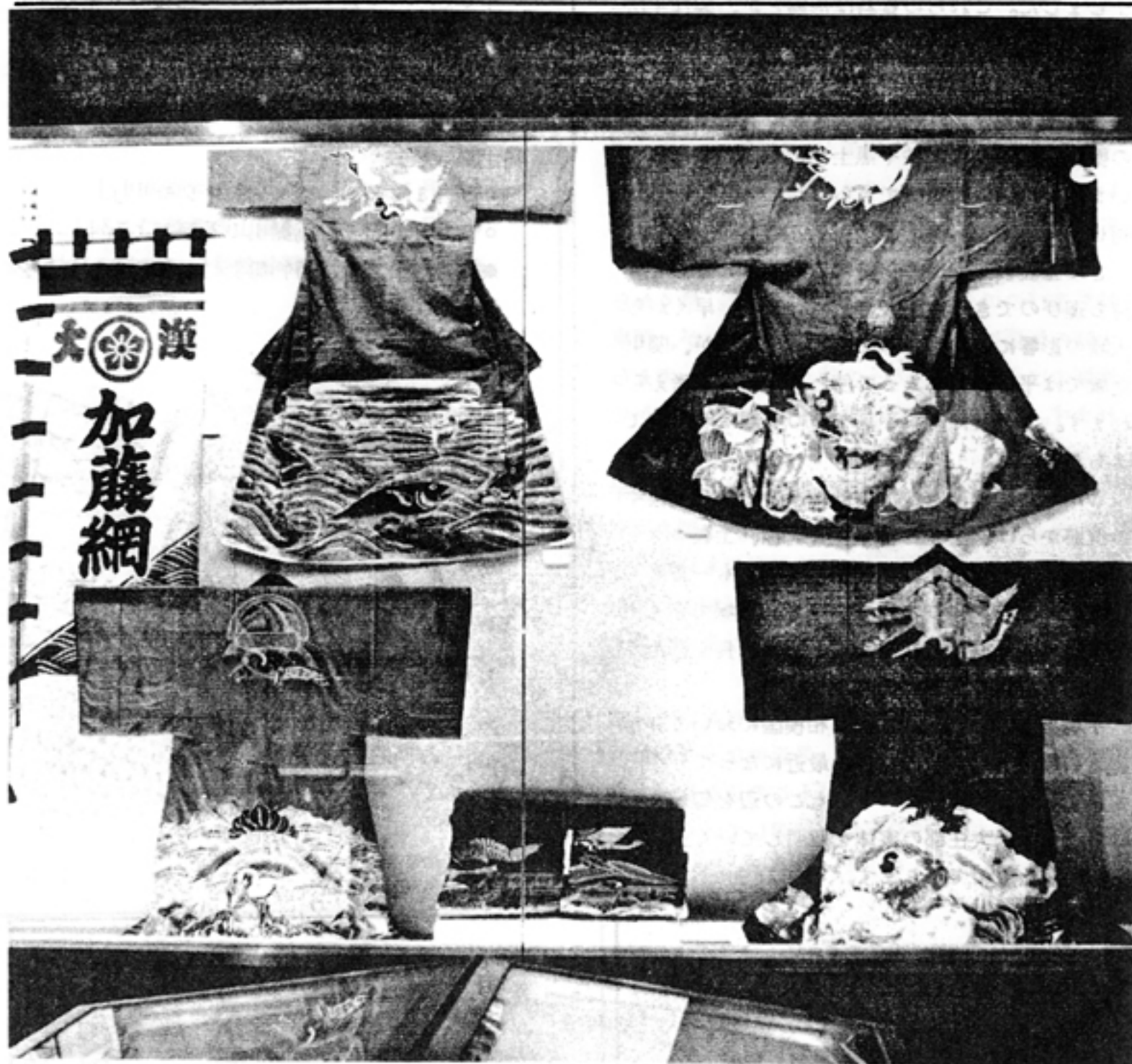
はくぶつかん



HIRATSUKA CITY MUSEUM

VOL 6 NO 5 1981. 8. 1

平塚市博物館 TNO 64



夏期特別展「相模湾の魚と漁撈」

期間 7月21日(火)～8月30日(日)

会場 平塚市博物館特別展示室(入場無料)

○記念講演会

日時 8月23日(日)午後2時より

場所 博物館講堂

演題 「相模湾の漁撈文化」

講師 田辺 悟氏(横須賀市博物館)

相模湾沿岸の各地で古くから行われていた伝統

的な漁法、漁具と漁の対象となるおもな魚に焦点をあて、海と人間生活のかかわりの一端を紹介しています。相模湾岸の漁撈活動は湾西部地域の大型定置網漁(ブリ網)、湾中部地域の地曳網漁、湾東部、三浦半島西岸の磯漁(見突き漁やアマ)で特徴づけることができます。これら各地の漁法、漁具を海の自然状況と関連させながら紹介するとともに、漁の祈願や感謝、漁船などのテーマも設けて展示しています。

なお、歌麿の江の島のアマの浮世絵は資料保全のため、7月21日～7月30日、8月25日～8月30日の16日間のみ展示します。

ー移動のできる竈（カマド）ー

下の写真は中原上宿遺跡の住居址から出土した土製カマドと言われるもので、平安時代に使われたものです。

この住居址からは土師器杯・甕・浅鉢、灰釉陶器皿・蓋、釣針状鉄製品や土製羽釜など豊富に出土しました。これらの資料は形態とか、製作手法や静岡県清ヶ谷古窯址群で焼かれた灰釉陶器皿などから10世紀後半の所産と考えられます。

ところでカマドは物を煮たきする設備で住居址の壁に、粘土を主に砂や黒土などを混ぜて作っています。つい最近農家で見られた「へっつい」と同じ構造をもつものです。

さて土製カマドは作り付けのカマドと異なり、持ち運びのできる点が大きく違います。早くから大陸の影響により西日本で普及しましたが、関東地域では平安時代に入って使われ始めたと考えられます。まだまだ資料不足でその実態は明らかではありません。

しかし、平塚市内の沖積低地での平安時代後半の遺跡からは、必ずと言ってよい程、土製カマドが出土し、その出土例は神奈川県内でも一番多く、関東でも屈指に入ります。ではなぜ平塚で多く出土するのかが問題となりますが、また良く分かりません。今後の課題と言えます。

平塚市を含む古代大住郡は相模国において非常に重要な位置を示すことが、最近になって分かってきました。「土製カマド」もこの辺を匂わす好材料であり、大住郡の実体を解明していく上での糸口になるものであります。（A）



9月の行事

●自然観察会「箱根に秋をたずねて」

月日：9月20日（日） 雨天中止

コース：箱根・駒ヶ岳、神山付近

内容：箱根火山の地形と地質、秋の植物など

申し込み：9月10日までに往復ハガキで。申し込み多数の時は抽選で30名。

※コースはやや健脚向きなので、幼児の参加は不可。また小学校4年生以下は保護者同伴。

●土曜観察会

○9月12日：「鳴く虫とコウモリ」

○9月26日：「高麗山の季節ごよみ」

※参加希望者は、博物館受付で参加のしおりを配布中です。



学芸日誌

六月三〇日

寄贈品コーナー「五年のあゆみ」の展示作業。担当、鷹・土井両学芸員。一階展示替え部分を含む展示室の公開。

七月一日

七月四・五日

開館五周年記念行事を実施。この日より、夏期特別展の木工作業始まる。

七月十日

「デッサン教室」担当、森田学芸員。

七月十一日

「星をみる会」担当、鷹・岩上両学芸員。

七月二十一日

夏期特別展「相模湾の魚と漁撈」が始まる。担当、小川学芸員。「水彩教室」の開始。担当、森田学芸員。

●夏期特別展

「相模湾の魚と漁撈—海と生活No.1—」

期間：7月21日（火）～8月30日（日）

会場：博物館、特別展示室

※入場無料

○記念講演会

日時：8月23日（日）午後2時より

会場：博物館講堂

演題「相模湾の漁撈文化」

講師：田辺悟氏（横須賀市博物館）

●体験学習「草木で染めよう」

月日：9月6日（日）

場所：博物館科学教室

内容：野生の植物を使って絹の小布を染める。

申し込み：8月25日までに往復ハガキで。申

し込み多数の時は抽選で30名。

※なお材料費として1人200円必要です。



●星を見る会

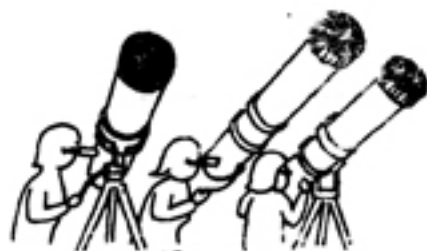
「水星、金星を見よう」

日時：9月26日（土） 18時～20時

場所：博物館科学教室

内容：西空に輝く水星と金星を観察します。

※参加は自由ですので当日科学教室へお集まりください。雨天、曇天時も会は行います。



●体験学習シリーズNo.55

「星座早見を作ろう」

月日：8月7日（金）

時間：午前10時～12時

※当日の午後7時～8時まで練習をします。

場所：博物館1階、科学教室

（締切りました）

●星を見る会

月日：8月8日（土）・ 8月18日（火）

8月28日（金）

時間：午後7時～8時

会場：博物館、科学教室

※夏休み期間中の星を見る会は、自由参加ですので、開催当日、科学教室にお集まりください。

●自然観察入門講座

「干潟の生物」

月日：8月16日（日）～18日（火）

（3日間）

場所：相模川河口、博物館

内容：干潟の渡り鳥と底生動物について、その調べ方を勉強する。

（締切りました）

●自由研究相談会

月日：8月25日（火）

時間：午前10時～午後3時

会場：博物館、科学教室

※参加は自由です。

歴史、考古、民俗、美術、生物、地質、天文の担当学芸員が、自由研究の進め方や、まとめ方、標本や資料の名前調べについて助言します。

●みんなで調べよう

「平塚のセミ」 調査協力者募集

月日：8月11日（火）…打ち合せ

8月12日～25日…各自、受け持ち地域を調査

8月26日（水）…まとめ

内容：ぬけがらを集めて、セミの分布を調べる。

（締切りました）

夏休み中のプラネタリウムの投影時間は下記のとおりです。

曜 日	投影時間	区 分	備 考
水曜日	10:00	団体専用	空席がある場合は一般の方も入れます
	14:00	一 般	観覧券は1200から発売します
木曜日	10:00	団体専用	空席がある場合は一般の方も入れます
	14:00	一 般	観覧券は1200から発売します
土曜日	10:00	団体専用	空席がある場合は一般の方も入れます
	13:40	一 般	観覧券は1200から発売します
	15:00	一 般	観覧券は1400から発売します
日曜日	10:30	一 般	観覧券は 900から発売します
	13:30	一 般	観覧券は1200から発売します

夏休み期間中の行事日程（8月中）

虫 め が ね

ちびっ子たちの夏休みは目下真最中。

家庭ではすべてこのちびっ子たち中心の生活がここしばらく続く。母親にとっては、まさに激烈な時期ともいえる。

一方、ちびっ子たちは学校生活の組織から離れて、家庭生活や地域での生活がすべてであり、解放感にとっぷりとひたることのできる「王様ぐらし」である。

博物館にとって、このちびっ子たちのご来館は入館者の記録を更新してくれる大切なお客様でもある。展示解説をノートする中学生、高校生にとっては何んとも落ちつかない環境に一変してしまう。職員は「静かに見よう」と、マナー教育に懸命の毎日。

今年もこのちびっ子たちに「夏休み自由相談コーナー」を開設して、サービスにつとめているが、受付をするちびっ子の目は何んとも自信ない、不安気なまなざしである。

「どんなことを知りたいの?」。しばらく無言がつづく。ようやく開かれた重い口からは、「何を調べたらいいですか?」。受付の学芸員としばらくこうしたやりとりがされて、相談内容が決まる。中には母親と学芸員の会話をじっと聞き入るだけのちびっ子も……。テレビCMの「よろしいんじゃないですか」が、妙に耳に残る。(貞)

8/1	●古文書講読会	・プラネタリウム	
2	●サマーセミナー↓		
3	休		
4			
5		・プラネタリウム	夏期特別展
6	・プラネタリウム		
7	●体験学習「星座早見」		
8	●星を見る会・プラネタリウム		
9	日		
10	休		
11	●みんなで調べよう 平塚のセミ		
12		・プラネタリウム	
13	デッサン教室↑	・プラネタリウム	
14			
15	●古文書講読会	・プラネタリウム	
16	日	●自然観察入門講座・干潟の生物	
17	休		
18	●星を見る会		
19		・プラネタリウム	
20		・プラネタリウム	
21			
22		・プラネタリウム	
23	日		○記念講演会
24	休		
25	●自由研究相談会		
26		・プラネタリウム	
27		・プラネタリウム	
28	●星を見る会		
29		・プラネタリウム	
30	日		
31	休		